

# 第6回セイカ子ども大学

## 「ミニしかけ絵本をつくろう！」

### 実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム  
<精華町・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2022年10月15日（土曜日）  
午後1時30分～4時30分
- 【開催場所】 S E I K Aクリエイターズインキュベーションセンター
- 【開催趣旨】 五味太郎さんの絵本「まどからおくりもの」のようなミニ仕掛け絵本を製作し、変化する絵のおもしろさについて考えながら、オリジナルの絵とストーリーを自由に発想し、膨らませる。  
最後には全員で発表し、作品の鑑賞や講評を行う。
- 【講師】 京都精華大学マンガ学部カートゥーンコース特任講師 榊原 太郎氏
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学3年生～6年生（保護者同伴）
- 【参加者】 10組
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町立小学校  
チラシ配架：精華町役場・図書館・精華町ホームページ
- 【内容】 ①あらかじめページに窓の穴が空けられている4ページ（表紙と裏表紙を含めると6ページ）の白い絵本に絵を描く。  
②窓の内と外で絵が変化するおもしろさについて考えながら、自由に発想を膨らませる。  
③本文の4ページの絵が描ければ完成。時間が余った場合は、表紙や裏表紙に絵を描き完成度を高める。  
④最後の30分で、できあがった作品の鑑賞や講評を行う。

※アイデアを考える — 絵を描く — 遊ぶ の一連の作業

## 【アンケート結果】

### ミニしかけ絵本づくりはどうでしたか？ (数字は人数)

- |     |              |             |               |
|-----|--------------|-------------|---------------|
| ①作業 | ・簡単すぎた ⑩     | ・ちょうどよかった ⑦ | ・むずかしすぎた ③    |
| ②説明 | ・わかりやすかった ⑩  | ・わかりにくかった ⑦ | (うち2名は対象年齢以下) |
| ③時間 | ・時間が足りなかった ⑥ | ・ちょうどよかった ③ | ・時間が余った ①     |

### 教室全体はどうでしたか？

- ・よかった ⑩      ・よくなかった ⑦      ・その他 ①

※その理由をご記入ください。

- ・夢中になって取り組み、あっという間の3時間だった。
- ・楽しく教えていただき、勉強になった。
- ・先生にたくさんほめてもらった。
- ・会場が広くてきれいで設備も整っていた。

### しかけ絵本づくりについて、参加前と比べて当てはまるものすべてに○をつけてください。

- ・理解が深まった ⑤      ・もっと学びたいと思った ⑤      ・より身近に感じるようになった ①

### その他、お気づきになられた点、感想等をご自由にご記入ください。

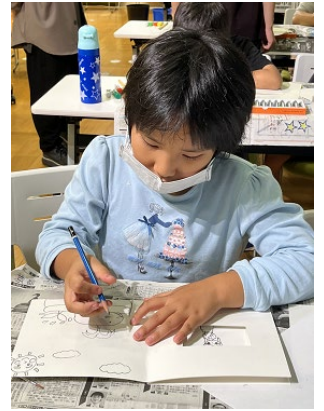
#### 【本人】

- ・楽しかった。
- ・工作や絵画が好きなので、おもしろかった。またやってみたいと思った。
- ・しかけ絵本のしくみがすごいと思った。
- ・絵の具やマーカーで塗るのが、少し難しかった。
- ・はじめは難しそうで、どうしたらいいかわからなかったけど、やってみたらおもしろくて、夢中になりました。またやりたいです。

#### 【保護者】

- ・良い体験ができました。
- ・たくさんの作品とアイデアに触れる良い機会になりました。他の人の作品は参考になりました。
- ・本人が興味を持っている絵について、適切な指導を受けられたのは、とてもありがたかった。
- ・画材がたくさんあって良かった。
- ・ページ数も2ページくらいでちょうど良い。
- ・先生がたくさん声をかけてくださり、ありがとうございました。
- ・家ではできない体験ができた。
- ・しかけ絵本に興味があったものの、自分で作れるという考えがなかったので、楽しかったです。自分もじっくり考えて作ってみたいと思った。
- ・悩んでいたら、いろいろアドバイスやアイデアをもらい、やりやすかった。
- ・新しいチャレンジができて楽しめた。

しかけ絵本のしくみや作り方の説明聞き、ストーリーを考える。



下絵を描いて、絵の具やマーカーなど思い思いの画材で色を塗る。



ストーリーと絵を発表、先生からの講評と「セイカ子ども大学修了証」授与



できあがったしかけ絵本

